

1 科学の甲子園

熊谷高校Dチーム第2位入賞！

熊谷高校Aチーム第3位入賞！



11月4日(土)に、県立総合教育センターにおいて、「第7回科学の甲子園埼玉県大会」が開催されました。6人1チームで筆記の部と、実技の部にそれぞれ挑みました。本校からは1・2年生の4チームが参加し、午前中に筆記、午後の実技が行われました。実技の部は、針金だけで独楽(コマ)を作って、どれだけ長く回し続けられるかという競技でした。本校の2チームが実技の部で第2位と第3位に入賞しました。残念ながら筆記と合わせた総合成績では入賞できませんでしたが、大会に向けた準備の成果を発揮してくれたと思います。1年生も参加していたので来年度はぜひさらに上を目指して頑張ってもらいたいと思います。

2 プレゼンテーション講習会「課題研究から広がる可能性」

10月30日の6・7時間目に1年生は体育館にて、プレゼンテーションの講習会を行いました。1年生は「熊高ゼミ」として課題研究に取り組んでおり、その成果を2月に実施される「熊高ゼミ発表会」でプレゼンテーションも行います。それらに向けて課題研究、そしてプレゼンテーションについて基本的な知識を学ぶためのものでした。講師に一般社団法人 Glocal Academy 代表理事の岡本尚也氏を講師に迎え、「課題研究から広がる可能性」というタイトルで、自らの経験も踏まえ、課題研究そしてプレゼンテーションについて説明してくださいました。今後のゼミ活動に活かしてもらいたいと思います。

講演を聴いての感想より

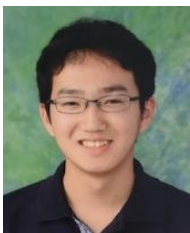


- ・足元を理解するのが一番重要と聴いて、勉強する時と同じだなと思いました。(基礎ができていないと難しい問題が解けない。)
- ・何気なく使っている言葉や常識的なことでも、よく考えると説明できなかつたりすることに、とても驚きました。
- ・本やインターネットに書いてあったことをそのまま信じるだけでなく、否定的になって、自分自身でも確かめようとする努力が必要だと思った。また、自分の意見だけでなく、他人の意見にも耳を傾け、より良い考えをすることが大切なのではないかと思った。
- ・課題研究には多くに知識が必要だと分かった。言葉を理解して、研究をして、成果を自分の言葉で伝えることで、責任を持ち、言葉が磨かれるようになる。知識を増やすことで、色々な見方ができるようになり、疑問を持てるようになる。

SSH で育った先輩方からのメッセージ その3

藤本 達也 先輩

北海道大学総合教育学部1年(理学部地球惑星科学科)在学 横瀬町立横瀬中学校卒



私が SSH の活動で主に取り組んでいたことは物理部での活動です。物理部では研究する楽しさや研究内容をまとめて発表する難しさなど様々なことを学びました。学校全体での活動でも熊ゼミや SSH 講演会など SSH ならではの取り組みが数多くあり、貴重な体験をたくさんすることができました。SSH の活動を通じて自身の物理や地学、化学に関する興味関心が高まり、将来のビジョンを考える際にも非常に役に立ったと思っています。SSH の活動に参加し、自分の好きなことを見つけ、楽しんでください。